

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-510453(P2008-510453A)

【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-014

【出願番号】特願2007-516810(P2007-516810)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/06	
C 0 7 K	7/08	
G 0 1 N	33/53	D
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	37/04	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

P 0 が、X、X X 又はX X X で、X が任意のアミノ酸又は非アミノ酸を示し、
 P 1 が、K、F、Y、W、Phg、Phe(4-F)、Phe(4-NO₂)、Met
 y r、- (3-ベンゾチエニル) - Ala 又はD - Lys であり、
 P 2 が、A、L、V、I、M、D - Ala、Nal - 2、Abu、Aib、Nle 又は
 Nva であり、
 P 3 がS であり、
 P 4 が、E、Q、Nle 又はNva であり、
 P 5 がK であり、
 P 6 が、I、L、V、Nle 又はNva であり、
 P 7 がF であり、

P 8 が、 Y、 F、 P h e (4 - F) であり、

P 9 の P が、 V、 I、 A、 N v a、 M e V a l、 A b u 又は V - N H₂ であるか、 又は P 9 は V であり、

P 10 の P が、 I、 L、 V、 N l e 又は N v a であり、

P + 1 が、 X、 X X 又は X X X で、 X が任意のアミノ酸又は非アミノ酸を示すような配列から実質的に構成される単離ペプチドで、 実質的に K A S E K I F Y V 又は K A S E K I F Y A ではない単離ペプチド。

【請求項 2】

下記配列：

K { L、 V、 M、 I、 D - A l a、 D - V a l、 N a l - 2、 A i b、 A b u、 N l e 又は N v a } S E K I F Y V、 又は

{ F、 P h g、 Y、 P h e (4 - F) 、 P h e (4 - N O₂) 、 O - メチル - T r y 又は - (3 - ベンゾチエニル - A l a } A S E K I F Y V、 又は

{ Y、 F 又は W } { V、 M 又は I } S E K I F Y V、 又は

{ F 又は W } L S E K I F Y V、 又は

K { A、 V 又は L } S E K I F Y I、 又は

K { L 又は V } S E K I F Y V - N H₂、 又は

F V S E K I F Y { I、 A、 N v a、 A b u 又は M e V a l }、 又は

F V S { Q、 N l e、 N v a } K I F Y V、 又は

F V S E K { L、 V、 N l e 又は N v a } F Y V、 又は

F V S E K I F { F、 P h e (4 - F) } V、 又は

K A S E K I F Y V { I、 L }、 又は

K V S E K I F Y V { I、 L、 V 又は N l e }、 又は

K L S E K I F Y V { L、 V、 N l e 又は N v a }

から実質的に構成される、 請求項 1 に記載の単離ペプチド。

【請求項 3】

下記配列：

K { L、 V、 M、 A b u、 N l e 又は N v a } S E K I F Y V、 又は

{ F 又は P h g } A S E K I F Y V、 又は

Y V S E K I F Y V、 又は

F { L、 V 又は I } S E K I F Y V、 又は

W { L 又是 I } S E K I F Y V、 又は

K { V 又是 L } S E K I F Y I、 又は

F V S E K I F Y { I 又是 N V a }

から実質的に構成される、 請求項 2 に記載の単離ペプチド。

【請求項 4】

下記配列：

K { V 又是 L } S E K I F Y V、 又は

{ F 又是 Y } A S E K I F Y V、 又は

F V S E K I F Y I、 又は

K V S E K I F Y V

から実質的に構成される、 請求項 3 に記載の単離ペプチド。

【請求項 5】

配列 K V S E K I F Y V から実質的に構成される、 請求項 3 に記載の単離ペプチド。

【請求項 6】

クラス I M H C ペプチドの結合溝に対して親和性を有する、 請求項 1 に記載の単離ペプチド。

【請求項 7】

前記クラス I M H C が H L A - A 2 である、 請求項 6 に記載の単離ペプチド。

【請求項 8】

前記ペプチドが請求項 1 に記載のペプチドの配列を有する、クラス I M H C / ペプチド複合体。

【請求項 9】

クラス I M H C / S S X - 2₄₁₋₄₉複合体を認識する T C R と交差反応性である、請求項 8 に記載のクラス I M H C / ペプチド複合体。

【請求項 10】

前記クラス I M H C / 複合体は、H L A - A 2 / S S X - 2₄₁₋₄₉複合体である、請求項 9 に記載のクラス I M H C / ペプチド複合体。

【請求項 11】

遊離配列と結合した請求項 1 に記載のペプチド配列を含むポリペプチド。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のペプチドを含む免疫原性組成物。

【請求項 13】

請求項 1 1 に記載のポリペプチドを含む免疫原性組成物。

【請求項 14】

請求項 1 1 に記載のポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 15】

請求項 1 に記載のペプチドを発現するための核酸手段。

【請求項 16】

請求項 1 4 又は 1 5 に記載の核酸を含む免疫原性組成物。

【請求項 17】

請求項 1 2 に記載の組成物を含む、C T L 応答を誘導、維持又は增幅させるための筋内投与用の医薬。

【請求項 18】

請求項 1 2 又は 1 3 に記載の組成物と免疫増強剤を含む、クラス I M H C に制限される T 細胞応答を同調させるための筋内投与用の医薬。

【請求項 19】

請求項 1 6 に記載の組成物を含む、C T L 応答を誘導、維持又は同調させるための筋内投与用の医薬。

【請求項 20】

クラス I M H C の結合溝に対する親和性を持つ K A S E K I F Y V 配列において 1 ~ 3 個の置換を含む单離ペプチドで、該クラス I M H C の結合溝に対して K A S E K I F Y V 配列と同様又はより強い親和性を有するペプチド。

【請求項 21】

解離の半減期が、前記クラス I M H C の結合溝からの K A S E K I F Y V 配列の解離の半減期と同様又はより長い、請求項 2 0 に記載の单離ペプチド。

【請求項 22】

前記ペプチド K A S E K I F Y V に対する特異性により T 細胞により認識される、請求項 2 0 に記載の单離ペプチド。